

学外有識者の声を聞き、運営に役立てる

～千葉大病院有識者懇談会の開催～

さる3月2日（月）に本院有識者懇談会が開かれました。

この有識者懇談会は、本院の実情について理解を得ていただくと共に、医学の教育・研究のより一層の発展に役立てるため、広く学外の有識者から自由な意見を聴取することを目的に、毎年度開催されているものです。

今年度も、地域の関係者や病院に関して高い識見を有する、加賀美幸子（千葉市女性センター名誉館長）、土屋秀雄（(株)千葉日報社相談役）、手島英男（千葉中央会計事務所所長）、土肥紅繪（千葉県美術会常任理事）、橋本照稔（だいほんざんなりたさんしんしょうじかんじゅ大本山成田山新勝寺貫首）、早川恒雄（(株)千葉銀行相談役）の委員6名の出席により開催されました。

懇談会席上では、まず病院側から「医師確保の取組み」や「周産期・救急医療、地域医療への貢献」、「看護師確保への取組み」等、本院の現状について説明のあとに、意見交換が行われ、「女性医師の職場復帰策」や「臨床研修制度の改正と医師派遣の見通し」などのテーマについて質疑応答がありました。

特に、報道により社会の注目を集めている地域医療に関しては、「なぜ地域の病院の診療科がなくなってきているのか?」、「今後の地域病院に対する医師派遣の見通しは?」などの質問のほか、「地域医療の重要性を徹底して教育するシステムを作っていただきたい」との提案も出されるなど活発な意見交換が行われました。

今回で第10回目の開催となった有識者懇談会。

本院では、今回頂いた意見を本院の運営に役立てると共に、今後も普段は聞くことのできない、千葉県各界の識者の声を聞く貴重な場として役立て、より良い病院づくりへと努力していきます。



冒頭挨拶を述べる河野病院長



委員との意見交換